

科目名	メディア研究2						年度	2024
英語科目名	Media Studies 2						学期	後期
学科・学年	マンガ・アニメーション科 マンガコース・アニメーションコース 1年次		必／選	必	時間数	60	単位数	4 種別※ 演習
担当教員	井上篤史		教員の実務経験	有	実務経験の職種		マンガ制作、スクリプトドクター	

【科目の目的】

本授業では、作品を数多く鑑賞することで、批判的思考を身につけることを目的とします。人間の十代は、それまでにない複雑な思考ができるようになる過程です。映像作品は目で観るだけではなく、観た者の脳内を照らします。良い作品はいつまでも心に残り続けるでしょう。なぜそのようなことが可能なのか、その理解を目的とします。

【科目の概要】

個人的な映像作品制作に必要な技法や知識を学び、創造性や表現力を養います。特に最新の作品の鑑賞を通して、新しい感性を涵養します。

【到達目標】

作品制作に必要な技法や知識を身に付け、創造性や表現力を養うことができます。また、作品を分析することで、自分自身の作品制作に役立てるすることができます。これにより、より独創的で高品質な作品制作を目指します。

【授業の注意点】

日本語でレポートをまとめるため、最低限の文章力が必要になります。最低でも200字以上は記述して提出してください。

評価基準=ループリック					
ループリック 評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう		レベル1 要努力
到達目標 A	クリエイティブな問題解決能力を持ち、柔軟に対応する能力を身につけ、制作活動に活かせる		クリエイティブな問題解決能力を持ち、柔軟に対応する能力を身につける		クリエイティブな問題解決能力を持ち、柔軟に対応する能力が不足している
到達目標 B	作品をポートフォリオとしてまとめ、自己プランディングを行うことができる		自己プランディングを行うことができ、就職に向けて準備を進める		自己プランディングを行うことができない
到達目標 C	プロジェクトの進行状況を把握、タスクを効率的に遂行する能力を身につけ、制作に応用できる		プロジェクトの進行状況を把握、タスクを効率的に遂行する能力を身につけ、制作に応用できる		プロジェクトの進行状況を把握、タスクを効率的に遂行する能力が十分ではない

【教科書】

筆記用具、ノート、PC

【参考資料】

参考書・参考資料等は授業中に指示する。

【成績の評価方法・評価基準】

作品提出および授業態度。時限出席率75%以下は課題提出しても不合格となります。

演習のいざれかを記入。

科目名		メディア研究2			年度	60			
英語表記		Media Studies 2			学期	2024			
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル		評価方法	自己評価		
1	オリエンテーション	3D制作の手順	1 3D制作手順	3D制作手順を理解する		3			
5	3Dアニメ制作とは	3Dアニメ制作手法	1 3D制作手法	3Dでの制作手法を理解する		3			
3	3Dアニメ制作ソフトについて	3Dソフトの種類と特徴	1 3Dソフトの種類と特徴	3D制作ソフトの種類と特徴を理解する		3			
4	3Dモデリング	モデリングを行う	1 モデリング	3Dモデリングできる		3			
5	3Dモデリング プレビュー	モデリング後のプレビューを行う	1 プレビュー	モデリング後のプレビューができる		3			
6	3Dレンダリング	モデリング後にレンダリングする	1 レンダリング	レンダリングできる		3			
7	3D制作 補足と復習	前回までの復習と不足を確認	1 復習と補足	復習と不足部分が把握できる		3			
8	3D制作 スケジュール見積	3D制作のスケジュール 見積を立てる	1 スケジュール立案	3D制作スケジュールを立案できる		3			
9	3Dレイアウト制作	3Dレイアウト制作	1 レイアウト制作	3Dレイアウトが制作できる		3			
10	3Dレイアウト完成	3Dレイアウト完成	1 レイアウト完成	3Dレイアウトが完成できる		3			
11	3Dレイアウト書き出し	3Dレイアウトを書き出す	1 レイアウト書き出し	3Dレイアウトを書き出すことができる		3			
12	他ソフトとの連携	他のアニメ制作ツールと連携して使う	1 他ソフトとの連携	3D制作を他のアニメ制作ソフトと連携できる		3			
13	3Dレイアウト 課題制作	3Dレイアウト課題制作	1 3Dレイアウト課題制作	3Dレイアウトの課題が制作できる		3			
14	3Dレイアウト 課題提出	3Dレイアウト課題を完成、書き出す	1 3Dレイアウト書き出し	3Dレイアウトの課題を完成させ提出納品できる		3			
15	3D制作まとめ	3D制作のまとめ 補足	1 まとめと補足	3D制作の振り返りと補足を把握できる		3			

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等